

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大野田老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 14,590人（前年度比42.3%） 令和元年度 34,461人（前年度比90.1%） 平成30年度 38,233人（前年度比102.3%）
	《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 31,138千円 （30,052千円） ・ その他市が負担した費用 440千円 （ 0千円）
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、管理運営委員会、地域委員会、センター独自アンケートなどを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえで心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や減失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知などの意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築、併設の児童館やコミュニティ・センターとの合同防災訓練等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケートの他にも独自アンケートを実施してニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28

<p>V 施設固有の基準</p>	<p>高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。</p> <p>また、利用者の代表者や地域で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。</p>	<p>9/9</p>
------------------	--	------------

三 評価総括

<p>《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》</p>	
<p>令和2年度は、事業計画に基づいて講師などへの依頼も前年度より済ませ、予定通りに事業を展開しようとしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により仙台市の市民利用施設が一斉休館となり、当センターも臨時休館を余儀なくされ、6月からの開館となりました。そのうえ、密を避けるために行事・講座の人数制限や実施の見送り、各種教室、愛好会活動の一部活動休止及び参加人数の制限、お風呂に至っては時間区分と1回あたりの人数制限をせざるを得ない状況となりました。その影響で、多くの利用者の方に利用をお断りする状況が目立ち、年間の利用者数は前年度に比べ減少いたしました。</p> <p>取り組みとして、6月のセンター再開を機に、利用者カードの再整備を行いました。利用者の皆様の新しい情報を入手し、緊急対応をスムーズに行うために、また安全・安心にセンターをご利用いただけるよう環境整備に努めました。</p> <p>また、60代・70代の新規利用者の呼び込みのため、新規の講座開拓として「すこやかヨガ」を開講し、シニア利用者の増加に繋げることができました。そのほか、仙台フィルハーモニーコンサート弦楽四重奏の音楽鑑賞会を実施し、参加された利用者様から好評いただきました。</p>	

<p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>	<p>総合評価</p>
<p>令和2年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>前年度に引き続き認知症予防や介護予防に関する事業に力を入れており、各種講座を工夫を凝らして実施している。新規事業として「すこやかヨガ」を開講し、新規受講者の獲得に繋げている。</p> <p>また、シニアボランティアグループ交流会を開催するなど、高齢者の社会参加活動の推進に努めている。そのほか、専門学校生の体験学習をセンターで受け入れるなど、積極的に地域交流、世代間交流の取り組みを行っている点も評価できる。</p> <p>施設運営にあたっては、市のアンケートのほか、独自アンケートや意見箱の設置などにより、利用者の意見を運営に反映する取り組みも実施しており、総合的に高く評価できる。</p>	<p>S</p>

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

<p>特記事項</p>
<p>「新型コロナウイルス感染症拡大防止 施設利用ルール」を策定し、感染拡大防止に留意した施設運営を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課